



岐阜県立斐太高等学校

学校案内 2027



創立140年 めざすものは、豊かな心と主体性

校訓

せつ さ たく ま かっ こ ふ ばつ
切磋琢磨 確乎不拔

教育方針

豊かな心と主体性を育み、幅広い知識と高い学力を身に付けることで、多様な社会に対応できる創造性豊かな人材を育成する。

スクール・ミッション

地域に貢献し、社会を牽引する人材を輩出してきた高校として新たな知識と幅広い教養を主体的に獲得する教育活動を通して多様な価値観を尊重し、未来の創造に向けて真摯に挑戦するリーダーの育成を目指す学校

スクール・ポリシー

- ◆**グラデュエーション・ポリシー(GP)『育てたい生徒像』**
 - 生涯にわたり探究心を持って自ら学び続け、問題解決や新しい価値の創造に取り組むことができる生徒
 - 多様性を尊重し他者と協働することができ、国際社会の持続的発展や平和に貢献することができる生徒
 - 地域社会の発展を考え、答えが見えない課題に対してもグローバルな視点からアプローチすることができる生徒
- ◆**カリキュラム・ポリシー(CP)『生徒をどう育てるか』**
 - 生徒一人一人の興味・関心が引き出され、深い学びと進路実現を可能にするバランスの取れたカリキュラムの編成とICTの活用や少人数によるきめ細かな指導
 - 地域や社会と連携した探究的な学習や体験活動等を通じて、教科横断的な学び、協働的な学びを推進するとともに柔軟な思考力を醸成
 - 生徒を主体として運営される様々な行事を通して、創造的企画運営力やリーダーシップ、チャレンジ精神を育成
- ◆**アドミッション・ポリシー(AP)『どんな生徒を待っているか』**
 - 学習意欲と知的好奇心を備え、向上心を持って学び続けることができる生徒
 - 自ら進んで人と関わる中で、他者との対話を大切に自他の個性を認めるなど、仲間と協力して物事に取り組める生徒
 - 広く社会に目を向けることができ、地域や世界の課題をジブンゴト(自らの課題)として捉えることができる生徒

設置課程・学科

全日制の課程(令和元年度入学生より単位制による全日制の課程) 普通科(前期・後期 二期制)

校章



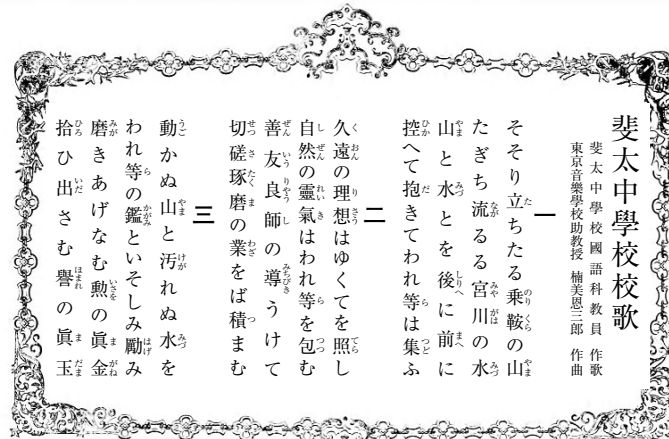
明治32年、当時斐太中学校の図画科の担当であった田島稻三氏の考案にかかる。『中』の字を基調として「蜻蛉島」(あきつしま)に雄飛せんとする意図を込めたという。大町桂月・幸田露伴らから高く評価されたと伝えられる。

校歌

県内で最も歴史、由緒あるもので、明治41年の元旦の拝賀式から歌われ始め、当時のまま百年以上長きに渡って歌い続けられている。

校名

この地方の呼び名を「日本書紀」では「飛騨」、それ以前の表記として「万葉集」では「斐太」、国造本紀・賦役令では「斐陀」とあり、「斐太」という校名は「万葉集」の「斐太」に拠るものである。



沿革

明治 19年 5月17日	飛騨三郡経営高山中学校開設
	6月1日を創立記念日とする
31年 7月18日	城山より現在地に移転
32年 4月 1日	岐阜県斐太中学校と改称 蜻蛉の徽章制定
41年 1月 1日	校歌を制定
昭和 23年 2月29日	通信教育部併設
23年 4月 1日	学制改革により新制高等学校に昇格
23年 8月18日	岐阜県立斐太高等学校と称す
61年 6月 1日	創立100周年記念式典
平成 8年 6月 1日	創立110周年記念式典
9年10月 5日	通信制50周年記念式典
17年 4月 1日	通信制の課程飛騨高山高校へ移管
18年 6月 1日	創立120周年記念式典
28年 6月 1日	創立130周年記念式典
令和 8年 6月 1日	創立140周年記念式典

受け継がれる伝統

白線流し

毎年3月1日の正午頃、卒業証書授与式後に行なわれる行事です。学校の前を流れる大八賀川をはさんで、校舎側に在校生が、対岸には卒業生が並びます。在校生は「送別歌」とともに旅立つ先輩の門出を祝い、卒業生は「巴城ヶ丘別離の歌」を歌いながら想い出の詰まった校舎に別れを告げます。そのとき、卒業生は、友との永遠の友情を誓って制帽の白線とセーラー服のネクタイを1本に結び合わせ、高校3年間のなつかしい想いを込めて早春の川面に流します。「斐太高校ありがとう!!」… 叫ぶ先輩の姿を見て、斐太高校への想いと誇りが後輩へと受け継がれていくのです。

この白線流しは、旧制中学以来、80年以上続けられてきた、斐太高校の伝統ある行事です。





学校行事

高校生活を彩る

斐太高校は行事も盛んです！

文化祭（蜻蛉祭）・体育祭・球技大会・白線流しなどの行事は、生徒会が中心となって運営されています。



入学式



対面式



球技大会



蜻蛉祭



東京大学見学



体育祭



遠足



修学旅行



修学旅行



白線流し



卒業式

4

入学式
対面式
課題・実力テスト
ウォームアップクラス
生徒総会

5

球技大会
身体測定
体力テスト
学部学科説明会

6

創立記念式典
前期中間考査
進学講演会
蜻蛉祭

7

三者懇談
オープンキャンパス

8

東京大学見学
課題・実力テスト

9

体育祭
前期期末考査

10

一日入学
遠足
修学旅行

11

後期中間考査

12

三者懇談

1

課題・実力テスト
大学入学共通テスト
Hida.T-Academia発表会

2

学年末考査

3

卒業式
白線流し
合格者と語る会
海外研修





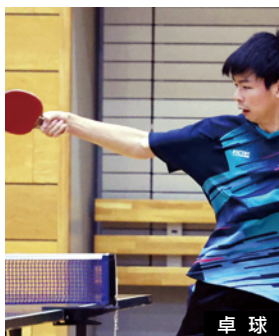
部活動

熱中できることがあるから頑張れる

体育系・文化系ともにいろいろな活動が行われ、
全校生徒の95%以上が部活動に参加しています

体育系部活動 (11種)

- 陸上競技
- 硬式野球
- 卓球
- ソフトテニス
- ハンドボール
- サッカー
- バスケットボール
- バレーボール
- バドミントン
- 弓道
- 剣道



卓球



バレーボール



自然科学(天文)



吹奏楽



ソフトテニス



バドミントン



放送



軽音楽

文化系部活動 (9種)

- 自然科学
- 放送
- 茶華道
- 書道
- 吹奏楽
- 軽音楽
- 美術
- 写真
- インターアクト



ハンドボール



弓道



茶華道(茶道)



美術



陸上競技



サッカー



剣道



茶華道(華道)



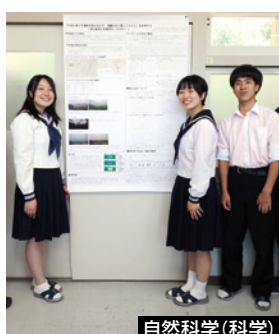
写真



硬式野球



バスケットボール



自然科学(科学)



書道



インターアクト

その他、個人の活動も応援しています！ 最近の活動 ▶ 水泳、新体操、クライミング、スキー、柔道



カリキュラム

学ぶ意欲を高め合う

豊かな人格と高い学力を目指すカリキュラム 令和元年度から「進学型単位制」に移行しました

習熟度別、進路別授業で、進路実現に向けてきめ細かい授業をおこなっています。

令和8年度入学者用教育課程(参考)

文理共通 1年	文系2年	文系3年	理系2年	理系3年
0				
1	現代の国語	論理国語	論理国語	論理国語
2			グローバル学 芸術特講B(学)	グローバル学 芸術特講B(学)
3	言語文化	古典探究	古典探究	古典探究
4				
5			地理総合	
6	歴史総合	地理総合		日本史探究 世界史探究 地理探究
7				
8	公共	日本史探究 世界史探究	数学II	
9				
10	数学I		数学III	数学III
11	数学II	数学II	数学B	数学III
12	数学A	倫理 政治経済 日本史探究 世界史探究 地理探究	数学C	特講A(学) 理系数学 特講B(学) 理系数学
13				
14	化学基礎	数学B 芸術特講A(学) グローバル学	物理基礎	数学C
15		数C		
16	生物基礎	地学基礎	物理 生物	物理 生物
17				
18	体育	体育	化学	物理 生物
19				
20	保健	化学基礎 生物基礎 生物探究(学)	体育	
21				
22	音楽I 美術I 書道I	保健	保健	化学
23				
24	英語C I	英語C II	英語C II	体育
25				
26				
27	論理・表現 I	論理・表現 II	論理・表現 II	英語C III
28				
29	家庭基礎	情報 I	情報 I	論理・表現 III
30				
31	総合探究	総合探究	総合探究	論理・表現 III
32	LHR	LHR	LHR	LHR
33				

(学)…学校設定科目

※令科目名や時間数は変更になることがあります。

授業以外の取り組み

進学対策

1年

- 月金講座
- 夏季講座
- 模擬試験(全員参加 年3回)
- ハイレベル模試(希望者 年1回)
- インターンシップ(夏休み)
- 合格者と語る会

3年

- 早朝トレーニング
- 模擬試験(マーク・記述・小論文・看護・公務員)
- 放課後補習(英・数・国・理・地歴公民)
- 東大京大特別講座
- 夏季補習
- 共通テスト対策(12月~共通テスト前日)

2年

- 月金講座
- 夏季講座
- 模擬試験(全員参加 年4回)
- ハイレベル模試(希望者 年3回)
- 学部学科説明会
- 東京大学見学(夏休み)
- インターンシップ(夏休み)
- Hida.T-Academia発表会
- 合格者と語る会

- 小論文、志望理由書指導
- 面接指導
- 添削指導
- 学部学科説明会

※海外研修(希望者)

学習支援

- 1年ウォームアップクラス(4月)
国語・数学・英語:2時間
家庭学習の体験指導
- 少人数・習熟度別・進路別授業
1年 数学
2年 文系クラス 数学、英語
理系クラス 数学、物理、英語
3年 文系クラス 古典、数学、英語
理系クラス 数学、物理、英語

日課表

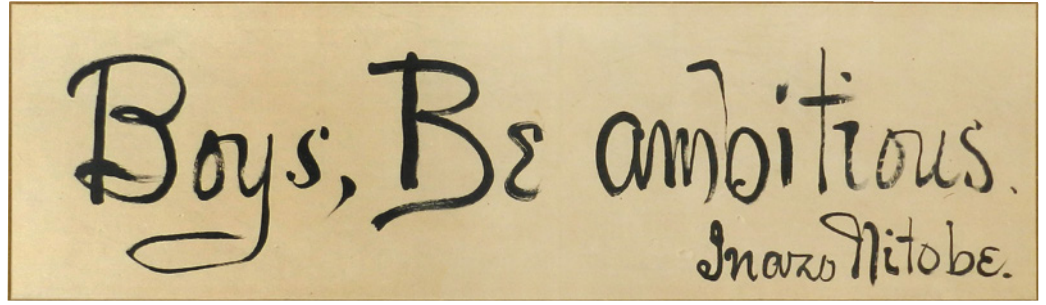
予 鈴	8:05	予 鈴	12:45
S H R	8:10~ 8:20	清 掃	12:50~13:00
第1限	8:25~ 9:15	第5限	13:05~13:55
第2限	9:25~10:15	第6限	14:05~14:55
第3限	10:25~11:15	第7限	15:05~15:55
第4限	11:25~12:15	S H R	15:55~16:05
昼 休	12:15~12:50		





進路

高い志を抱き、世界に羽ばたこう!



昭和36年8月、中33回卒の
荒垣秀雄氏により本校へ寄贈された
新渡戸稲造直筆の書

新渡戸稲造は国際連盟の事務次長を務めた農業経済学者、教育家、前の五千円札肖像の人物。
札幌農学校(現在の北海道大学)の二期生として入学。Boys, Be ambitious(少年よ、大志を抱け)
は、農学校に教頭として赴任したウィリアム・スミス・クラーク博士の言葉。



堅実な実績

国公立大学合格者

107名

(令和7年度卒業生)

国公立大学は毎年100名以上合格

京都大学(理)	1名
一橋大学(商)	1名
名古屋大学(人文、工、情報)	5名
筑波大学(芸術)	1名
お茶の水女子大学(生活、文教育)	2名
金沢大学(医薬保健、理工、融合)	8名
岐阜大学(教、社シ、工、応生、医)	13名
国公立大学 医学部医学科	5名

主な国公立大学

千葉大学	2名	名古屋工業大学	1名
東京海洋大学	1名	広島大学	1名
横浜国立大学	1名	横浜市立大学	2名
新潟大学	1名	金沢美術工芸大学	1名
富山大学	15名	愛知県立大学	2名
信州大学	2名	名古屋市立大学	2名
静岡大学	1名	大阪公立大学	3名
愛知教育大学	3名		

私立大学合格者

411名

(令和7年度卒業生)

早稲田大学	2名
東京理科大学	2名
上智大学	3名
明治大学	4名
青山学院大学	5名
中央大学	2名
法政大学	2名
同志社大学	6名
立命館大学	24名
関西学院大学	6名
南山大学	9名
名城大学	31名
岐阜聖徳学園大学	30名

大学入学共通テスト出願者のうち、半数近くが国公立大学に合格

国公立大学 過去の実績

東京大学	神戸大学	新潟大学	名古屋工業大学
京都大学	国際教養大学	富山大学	岐阜大学
大阪大学	東京藝術大学	金沢大学	三重大学
名古屋大学	筑波大学	福井大学	滋賀大学
北海道大学	千葉大学	山梨大学	広島大学
東北大学	お茶の水女子大学	信州大学	東京都立大学
九州大学	東京外国語大学	静岡大学	愛知県立大学
東京工業大学	東京学芸大学	浜松医科大学	名古屋市立大学
一橋大学	横浜国立大学	愛知教育大学	大阪公立大学 …などに合格

私立大学 過去の実績

慶應義塾大学	法政大学	関西大学
早稲田大学	明治大学	中京大学
青山学院大学	立教大学	藤田医科大学
学習院大学	同志社大学	岐阜聖徳学園大
国際基督教大学	立命館大学	愛知大学
上智大学	東京理科大学	…などに合格
中央大学	京都薬科大学	
津田塾大学	南山大学	
東京農業大学	名城大学	



実践

伝統と革新 進み続ける教育実践!

地域課題探究型学習推進事業

斐太高校探究プロジェクト

1年次

「探究スキルの習得」

共通のテーマをもとに探究学習の基礎を学びます。

- 笑顔いっぱいプロジェクト
- 地域の歴史に関する探究
- 数学、理科、情報の分野に関する探究
- 人材育成プログラム など



地域歴史探究(1年次)

2年次

「グループまたは個人での探究」

それぞれの興味・関心に合わせて探究する分野、テーマを選択し、探究学習に取り組みます。

- 飛騨地域の活性化に関する探究
- 数学、理科、情報の分野に関する探究
- 自由な発想で設定したテーマに基づく探究 など



探究相談会(2年次)



海外研修

コミュニケーション能力育成プログラム

- クラス対抗ディベート大会(1月)
- 海外研修(3月)

主な年間計画

- 7月 探究プロジェクト相談会
- 10月 人材育成プログラム
- 12月 探究プロジェクト校内選考会
- 1月 Hida-T-Academia探究プロジェクト発表会
(高山市民文化会館)



Hida-T-Academia発表会

高等学校DX加速化推進事業

「総合的な探究の時間」を中心に生徒の学びをDXで支えます!



デジタルサイネージ研修会



大学と連携した探究学習の支援



ICTを活用した授業



データ活用を学ぶ講演会

飛騨地域唯一の
「地域課題探究型学習推進事業(グローバル探究型)」と
「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」の
充実した環境の中で、斐太高校でしかできない経験を通して
未来を担う次世代リーダーの育成を推進しています



Hida-T-academia
探究プロジェクト発表会冊子

自分の夢をかなえた先輩たちからのメッセージ

先輩から

令和7年度卒業生
横浜市立大学
国際教養学部
国際教養学科



沖澤 龍之介
(古川中学校出身)

斐太高校は生徒の考えを尊重しながら協働を重視していて、一人一人が主体的に行動する力を育てられる学校だと思います。斐太高校には文化祭や体育祭など、生徒の決められることの大きい行事が充実しています。その運営や参加では特に自分の考えを話し、仲間と協力して形にしていく経験を積むことができます。全校生徒がそれぞれのクラス、部活で企画を行う文化祭では実行委員としても参加することができ、忘れられない思い出を作ることができました。また、部活では私は軽音楽部に所属していましたが、文化祭のライブや日々の部活を通してかけがえのない仲間ができました。斐太高校は勉強のイメージが強いと思いますが、勉強と部活やさまざまな活動を両立できる人がとても多いです。

勉強については、日々の小テストや課題など、自分でやるべきことを管理して自分を律する経験も積むことができます。自分はずっと勤

高め合える仲間とともに

勉ではなく怠けがちだったこともあり、受験期には基礎が抜けているところが多く対策に苦勞を強いられました。入学される皆さんにはぜひ日頃の授業や課題を大切に自分の知識を深めていくことを大切にして学校生活を送ってほしいと思います。また中学校とは違い、高校の勉強の内容は、時に自分だけでは理解が難しいこともあります。それを放置すれば後々に自分を苦しめることにもなるため、分からないことを放置しない勉強をすることがとても大切です。皆さんにはぜひ仲間や斐太高校の先生方を頼ってほしいと思います。斐太高校には生徒一人一人が進路実現のために努力を怠らない雰囲気があるため、お互いに頼り合い高め合っていくことができます。また、先生方も生徒に真摯に答えてくださり、疑問を解決することができます。斐太高校のこのような環境をぜひ最大限活用して、仲間たちと切磋琢磨し、楽しく充実した3年間を送ってください。応援しています。

令和7年度卒業生
筑波大学
芸術専門学群



丸山 翠月
(清見中学校出身)

斐太高校は、生徒の意志をとて大切にしてくれる学校です。文化祭では、実行委員の私たちの多くのやりたいことには現実的にできないこともありました。それでも、先生方は高校の文化祭という制約の中でできる最大限を考えてサポートしてください、実行委員もそれぞれの最大限で文化祭に臨みました。やりたいことを実現するために生徒も先生も一丸となって取り組める環境がありました。また、私は美術部と放送部の兼部を3年間続けました。二つの締め切りが重なり忙しいときも多かったですが、そのすべてがとても充実した時間でした。放送部の全国大会での受賞は一生の思い出です。

受験の面でも、斐太高校に入学してよかったと思っています。私は、総合型選抜で芸術大学に不合格となった後、担任の先生や美術の先生と相談し、志望校を変更しました。両親や先生にも最初は心配されました。しかし最後には、「受けなかったら後悔する」という私の

やりたいことを実現する

思いを受けて、先生方も応援してください、合格できました。先生方だけでなく、周りの仲間が勉強に励む姿からも気力をもらいました。受験に全力で向かっていける空気感があるのは、斐太高校の強みだと思います。

みなさんに伝えたいことの一つは進路のこと。私は第1希望の大学以外の国立大学は見に行かなくて、進路を変更してから見に行く余裕はありませんでした。気になる大学にはとりあえず行ってみましょう。必要な科目を早めに調べてみるのもいいです。急に受験スイッチを入れるのは案外難しく、最初はほんやりとでもいいので、動いてみてください。もう一つは高校生活のこと。勉強以外にもたくさん輝けるチャンスがあるのも斐太高校のいいところです。人生で一度の高校生活、全力で楽しまなきゃもったいない！仲間とやりたいことには最大限挑戦してみてください。みなさんの高校生活が、充実しますように。

令和7年度卒業生
福井大学
医学部
看護学科



熊崎 永遠
(萩原南中学校出身)

斐太高校に入学した理由は、大学進学への勉強を頑張りたいと思っていたこと、校風や行事から楽しい学校生活が送れると考えたことの主に2つです。

勉強面では、電車通学もあり、放課後に十分な勉強時間が取れない日もありました。そんな時でも、駅に着くまでの1時間で小テスト勉強や課題を終わらせたり、高山に残って勉強したりと工夫して生活していました。授業では、分からない所を出来るだけその日のうちに解決することを意識していました。高校の勉強は、解説を読んでも分からない時など思うように行かなくて焦ることもあるかもしれません。そんな時、自分の周りには先生や友人という強い味方がいます。たくさん頼って自分のペースで頑張ると良いと思います。

部活や行事では、私は自然科学部の部長や体育祭の副実行委員長を経験しました。高校では自分達で進めていく場面が多い分、中学校の時よりやりがいも楽しさもあります。自分の長所や特技を発揮でき

出合いに恵まれた高校生活

る行事があるはずですので全力で楽しんでください。

私は推薦入試で志望校に合格しました。小論文の添削や面接練習など、先生方の手厚いサポートで安心して本番に臨むことができました。また、学校で取り組んだ看護体験や探究活動がとても役に立ちました。受験期は大変な思いもありますが、同じように頑張る仲間がたくさんいるのが斐太高校の強みです。1人では頑張れない時、将来について不安な時、本当に心強いです。

斐太高校に入って良かったことの1つが、出合いです。夢に向かって努力している人や自分にはない考えを持っている人、先生方などから毎日良い刺激をもらいました。斐太高校での出合いがあったからこそ、私は勉強や行事に前向きに取り組むことができました。高校生活の短くて濃い3年間に自分に合った場所で過ごせるようによく考えて選んで欲しいと思います。

令和7年度卒業生
一橋大学
商学部



松尾 美咲
(東山中学校出身)

私が斐太高校に入学した理由は、学校行事、部活、学習の全てに全力で取り組みたいと考えたからです。斐太高校を卒業した今、全てが叶ったと言えます。斐太高校には多くの行事があり、私は、母校の中学校で行うミニ教育実習や、総文祭のボランティア、東大見学、オーストラリア研修にも参加しました。馴染みのない分野であっても、少しでも興味がわいた行事には積極的に参加することをおすすめします。視野が広がり、新たな世界に足を踏み入れるきっかけになったり、忘れられない出合いがあったりします。オーストラリアで出会った友達とは研修から3年たった今でも連絡を取り合い、また会おうと約束しています。

体育祭や文化祭には、学校全体で全力で取り組むことができます。文化祭は、特に3年生は、受験勉強と両立しながらも放課後などに自主的に集まって練習を重ねるなど、クラスが一丸となって取り組め

すべてに全力で取り組めた

生の思い出になります。また所属する軽音楽部の文化祭でのライブは今まで経験したことのないほどの盛り上がりで、ステージからの景色は一生忘れません。

勉強面でも、一緒に頑張れる友達や頼れる先生を見つけることができます。私は定期テスト前にはほとんど毎日友達と図書館などで、一緒に勉強しました。周りの友達が頑張っている姿はモチベーションになるし、お互いの得意教科を教え合うことができます。どれだけ時間がかかってもいいので、自分でしっかり分かるまで理解しておく、受験生になってから本当に助かります。1年生のうちから、特に定期テストは「分からない」ことを見つけるいい機会だと思って取り組みましょう。

高校生活で一生懸命何かに取り組むということは本当に楽しいものです。みなさんが自分のやりたいことを諦めず、本当に楽しい高校生活を送れることを願っています。

令和7年度卒業生
名古屋大学
情報学部
コンピュータ科学科



池畑 秀翔
(久々野中学校出身)

私の思う斐太高校のいいところの一つは、自分のやりたいことに対して自由に挑戦することができ、サポートしてくれる先生や仲間などの周りの環境が充実していることです。先生方はたとえどんな高い目標を掲げたとしても馬鹿にすることなく、現実にするためにどうすべきかなどを親身に一緒に考えてくださいます。周りの仲間たちも同様に高い目標に向かって頑張っている人が多いので、一緒に切磋琢磨して高め合うことができます。

中学校との違いは、ただ勉強するだけでは成績が伸びなくなるということです。高校に入るとより深い思考力が求められ、見たことのない複雑な問題にも直面します。そこで求められることは、最後まであきらめずに粘り強くやり抜くことと、自分を客観的に分析して自分なりに戦略を立てて勉強することです。高校では模試やテストを受ける機会が増え、嫌でも自分の現実を見なければならぬ場面が数多くやってきます。現状から目をそらさず受け入れ、そこから自分はどうす

仲間や先生の全力サポート

べきかを考えることが大事だと思います。また、高校の勉強はとても難しいので投げ出したくなる場面も多ありますが、そこで逃げずに考えることで力がつくと思います。

私は電車通学の三年間で単語帳アプリに覚える単語を打ち込んで電車の中で練習するなどの工夫をしました。斐太高校は勉強だけでなく部活や行事も全力で頑張る雰囲気のある学校です。特に学校のある日は自分の自由に使える時間が少なくなりがちなので、こうした隙間時間を有効に活用することが重要です。実際に私は勉強と部活を両立しながら三年間を完走しました。部活に入ることは気分転換にもなっておすすです。

斐太高校は目標に向かって全力で頑張る人の味方です。打ちのめされたり自信がなくなったりすることもあるかもしれませんが、仲間や先生が全力でサポートしてくれるのでどんどん挑戦していきましょう。

令和7年度卒業生

岐阜大学
医学部
医学科



熊崎 亮
(下呂中学校出身)

私は小さい頃から医者になりたいという夢があり、小学生の頃からその夢に向かってコツコツ勉強してきました。斐太高校を選んだのは、自分の夢に向かってコツコツ努力できる環境の学校だと思ったこと、勉強も頑張りつつ部活動や学校行事にも全力で取り組む学校だと思ったからです。

所属した書道部では各作品展への出展、絵馬の制作、他校の生徒との交流ができた全国高校総合文化祭のスタッフ参加、そして、クイマックスの文化祭のステージでのコラボパフォーマンスなど、とても良い経験ができ、とても達成感がありました。

文化祭もすばらしいものでしたが、体育祭もすばらしいです。僕は3年生の時にマスコット長をやりました。夏休みや放課後を使って団の応援に合った大きな絵を4枚完成させました。係のメンバーみんなの力でとても良いものが出来上がり、体育祭当日も応援に華を添えられました。

斐太高で最高の青春を！

そして進路実現への勉強です。高山の施設で閉館時間まで勉強する生活を三年間ほぼ毎日続けました。「受験は団体戦」と担任の先生が常日頃から言っていました。そこで、高校の仲間が一人二人と増えてサークルようになっていき、結果的に、「団体戦」で受験に臨むことになりました。受験は圧倒的に苦しいですが、志ある仲間といっしょに立ち向うことによって乗り越えることができたと思います。

斐太高校の校訓は「切磋琢磨」と「確乎不拔」です。斐太高校のみんなはそれぞれの進路実現に向けて日々努力をしています。中でも部活や学校行事に真剣に取り組む姿があります。それが140年続く伝統ある斐太高校の姿です。この環境で三年間勉強できたこと、そして目標だった医学部に合格できたことは、僕にとって最高の青春となりました。これから先の人生も斐太高校を誇りに思い、自分の道を歩んで行きたいと思います。

令和7年度卒業生

名古屋大学
工学部
機械・航空宇宙工学科



田中 心翔
(中山中学校出身)

斐太高校は、生徒の大半が大学進学を目標としており、日々勉強に励む環境が整っています。そのため、生徒同士がお互いに助け合いながら学び、切磋琢磨して自分の力を高めていくことができます。また、先生方は熱心に指導してくださり、話しやすい方ばかりで、分からないことも気軽に質問できる雰囲気があります。このような恵まれた学習環境は他の高校ではなかなか経験できず、大学受験において大きなアドバンテージとなると感じています。中学校と比べると授業の進度は速く、周囲のレベルも高いため、日々の予習・復習をして授業内容をその都度しっかり理解することが、学力向上の鍵となります。

私が本格的に受験勉強を始めたのは、部活動引退後で、結局、本当に真剣に勉強へと向き合うようになったのは、体育祭が終わった9月からでした。ここからは遅れを取り戻すために限られた時間の中でできることを一つ一つ積み重ねていきました。その結果、何とか

充実の高校生活
勉学と行事に支えられた

第一志望に合格することができました。受験を終えて、伝えたいのは、今自分がやるべきことは何かをしっかりと考え、それをすぐに実行してほしいということ。一瞬一瞬を大切に、後悔のないように有効活用してほしいと思います。

また斐太高校の魅力は、学校行事にあると感じています。一年を通して行事があり、生徒一人ひとりが主体的に関わることができます。その中で私にとって特に印象に残っているのは体育祭です。私は3年生のときに副団長を務め、仲間とともに勝利を目指して努力しました。放課後や休日にも集まり、仲間と励まし合いながら取り組んだことで、大きな達成感と充実感を得ることができました。この経験はかけがえのない思い出であり、斐太高校で本当に良かったと心から思えます。さらに、このような経験を通じて得た仲間との絆や努力する姿勢は、これからの人生においても大きな財産になると感じています。

令和7年度卒業生

お茶の水女子大学
文教育学部
言語文化学科



幅 聡美
(松倉中学校出身)

私は斐太高校に来たのだから絶対に妥協せず勉強しようと決めていましたが、中学生の頃と同じ勉強時間では高校の定期テストに太刀打ちできず、小テストも想像以上に多く最初は驚きました。しかしその一つ一つに全力で取り組むことで受験のための基礎固めができ、受験期に基礎問題で困ることはありませんでした。とはいえ、何のために勉強するのか幾度も見失いそうになりました。しかし斐太高校では勉強を頑張ろうと休み時間に単語帳を開く同級生の姿がよく目に入ります。また私には同じ大学を目指していた友人がおり、彼女の存在は受験の大きなモチベーションでした。そして嬉しいことに私たちは同じ大学に進学することになりました。このように同じ目標に向かって切磋琢磨できる仲間が学校中にいること、そして迷い悩んだ時に一人一人の将来を真剣に考え応援してくださる先生方がいることが斐太高校の良さだとつくづく実感しました。

同じ目標に向かう
仲間の存在

私の高校生活を語る上で外せないのが部活動です。吹奏楽部は活動日数が多く勉強との両立が大変ですが、私は部活があったからこそ受験を乗り越えられました。部活で出会った同級生は私にとってかけがえのない存在になり、優しい先輩、後輩にも恵まれ、再びこの仲間と演奏するという目標が受験期の大きな支えでした。最後のステージでは三年間続けてよかったと非常に感動しました。

行事に向けられる斐高生の熱量は驚くべきもので、私は特に三年次の蜻蛉祭での、クラス一丸と多かつた作り上げた劇の最後のカーテンコールが脳裏に焼き付いて離れません。

斐太高校は勉強だけでなく、努力次第で高校生活を素晴らしいものにできる最高の学校です。高校生活は人生の中でたった三年、そしてたった一度きりです。だからこそ悔いが残らないよう日常も行事も大切にしてください。私は斐太高校を選んで本当に良かったです。

令和7年度卒業生

京都大学
理学部
理学科



木村 魁里
(日枝中学校出身)

私は斐太高校の魅力は、行事の豊富さと自由さだと思います。入学して初めてやる行事の球技大会では新たなクラスの仲間と仲良くなるいい機会ですし、文化祭は非常に楽しく、二日では足りないほどです。また、準備段階でも生徒たちだけでワイワイしながら買い出しや練習をするのも文化祭の醍醐味です。日常生活でも先生たちからあれこれ言われることがあまりないのでみんなが自由に楽しめます。だからと言って先生たちが私たち生徒に興味がないわけではなく、相談しても親身になって聞いてくれる先生ばかりです。

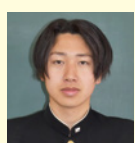
僕は受験勉強を通して大事だと思ったことは「先を見据える」ことだと思います。すごく単純で言われたことがあることだと思いますが、受験においてできていた人は少ないと思います。高校に入ると中学と比べて授業の進みやレベルが上がったり、小テストがあったりして忙しくなります。受験期になると同時に9教科もこなしていくことになります。やるが増えると目の前に必死になってしまう

自由な校風で先を見据えて
仲間と乗り越える

ますが、そんな時こそ一度自分のやるべきことを整理していかなければいけません。週単位、月単位、年単位で計画することでゴールまでの道が明確になり、努力がちゃんと結果につながります。こういったことは受験に限らず、どんなことでも大切だと思います。

また、受験勉強は辛いことも多かったです。一緒に頑張る仲間がいたから最後までやり切れたと思います。友達とみんなで勉強の進捗を共有しあったり、分からない所を話し合ったりしたこと、モチベーションがない時でもみんなは頑張っているから自分も頑張ろうと思えたり、逆に周りにもやる気を与えられたと思います。そんな友達とは各々違う大学に進学するけれど次いつ会えるか話しているような仲間になっています。みなさんも学生時代にできた仲間を大切に辛いことも乗り越えてください。皆さんが楽しい高校生活を送れることを願っています！

令和8年
前期生徒会長



池田 晃太郎
(松倉中学校出身)

斐太高校は、長い歴史と伝統を大切にしながらも、時代の変化に対応し、新しい学びや挑戦を重視している学校です。

日々の授業では、基礎・基本を確実に身につけることはもちろん、自ら課題を見つけ、考え、表現する力を育てています。探究活動や発表の機会も豊富に用意されており、自分の興味や関心を深く追究できる環境が整っています。また、本校の大きな魅力の一つが学校行事です。文化祭や体育祭では、生徒一人ひとりが主体となり、仲間と協力して一つの目標に向かって取り組みます。意見を出し合い、時には悩みながらも形にしていく過程は、大きな達成感と自信につながります。完成した瞬間の喜びや仲間との絆は、かけがえのない思い出として心に残ります。部活動も非常に活発で、運動部・文化部ともにそれぞれの目標に向かって日々努力を重ねています。仲間と切磋琢磨しながら過ごす時間は、自分の限界に挑戦する貴重な機会です。勉強との両立を通して、時間の使い方や自己管

挑戦が未来を切り拓く場所、
斐太高校

理能力も自然と身につく、人としての成長にもつながっていきます。さらに、斐太高校には温かく支え合う校風があります。先生方は一人ひとりに寄り添い、それぞれの目標や夢の実現に向けて全力で支えてくださいます。生徒同士の関係も良好で、学年を越えた交流の中から多くの刺激や学びを得ることができます。安心して自分らしさを発揮できる環境がここにはあります。

斐太高校での三年間は、自分自身と向き合い、可能性を広げる大切な時間です。挑戦の中で得られる経験や出会い、これからの人生を支える大きな財産となるでしょう。成功だけでなく、失敗からも多くを学び、それを次の一歩につなげていく力が育まれます。ぜひ斐太高校で、自分の夢や目標に向かって一歩踏み出してみてください。皆さんと共に充実した学校生活を築いていける日を、在校生一同心より楽しみにしています。

「懐かしい三星霜 思い出さそう 鐘は鳴る」



校舎の脇の一角に立ち、年一度、白線流しの開始の合図にのみ鳴らされる「平和の鐘塔」。これは、すべて生徒の手で企画や資金募集をおこなって完成した生徒会活動の金字塔です。

「平和の鐘塔」建設の声は、昭和25年の朝鮮戦争勃発に対し、世界戦争への不気味な前兆と受け止めた生徒たちの中から、平和問題を真剣に考えていく象徴として作ろうとする声があがってきました。その後、全校生徒の理解を得るために、議会や生徒集会、各ホームルームでくり返し話し合いをおこなって、生徒会の一大事業として建設することが決まりました。それ以後、生徒会による積極的な募金活動がおこなわれ、昭和27年12月8日、3年越しの悲願が実って「平和の鐘塔」が完成しました。

この鐘の音とともに、平和な世界がいつまでも続くように願った先輩たちの精神を心に刻み、斐太高生は卒業していきます。



岐阜県立斐太高等学校

〒506-0807 岐阜県高山市三福寺町736番地 Tel.0577-32-0075 Fax.0577-32-9006

URL <https://school.gifu-net.ed.jp/hida-hs/> E-mail c27337@gifu-net.ed.jp

